




快適に使用していただくために

## 取扱説明書

## 暖蘭物語

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
 補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## もくじ

1 安全のために必ず守ってください	1
2 各部の名称	4
3 パネルの使用方法	6
3.1 落とし棒の操作方法	6
3.2 パネルの開け方、閉め方	7
3.3 パネルの移動方法	8
3.4 錠の操作方法	8
4 お手入れについて	9
4.1 パネルの清掃	9
4.2 パネルのお手入れ	10
4.3 レールの清掃	9
4.4 レールのお手入れ	9
4.5 雨樋の清掃	11
4.6 内面デッキ目地溝の清掃 （樹ら楽ステージ木彫の場合）	11
5 製品のご注意とお願い	12
6 修理を依頼する前に	12
7 修理	13
8 別売り品	13

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

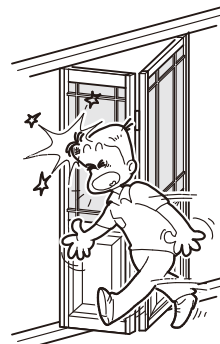
# 1 安全のために必ず守ってください

## 警告



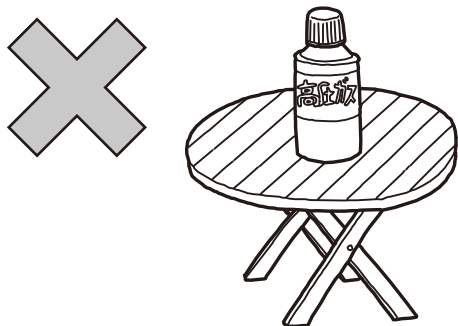
- 製品内（屋根・パネルで囲んだ内部）で石油暖房機を使用しないでください。排気ガスによる中毒のおそれがあります。

## 警告



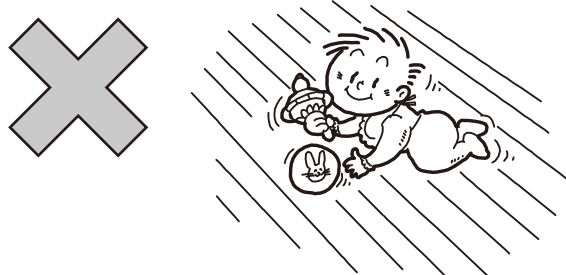
- 暖蘭物語のパネルおよびフィックスパネルは5mmフロートガラスを使用しておりますので、衝撃などを与えないでください。破損すると重大なケガのおそれがあります。

## 注意



- 日中、日差しが強いときに、カセットコンロ用ボンベなどの高圧ガスを使用した可燃性製品は置かないでください。破裂してケガをするおそれがあります。

## 注意



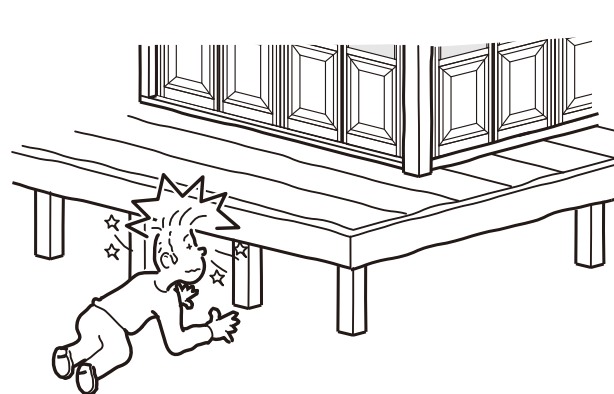
- 乳幼児を1人で遊ばせないでください。日中、日差しが強いとき等、パネルを閉じるとパネル内の温度が上がって危険です。また、木部のササクレや下レールのつぎ目などでケガをするおそれがあります。

## 注意



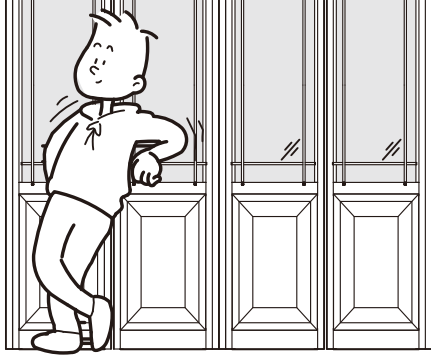
- デッキの上では、必ず履き物を履いて利用してください。裸足は大変危険です。日中、日差しが強いときに裸足で歩くとやけどをするおそれがあります。

## 注意



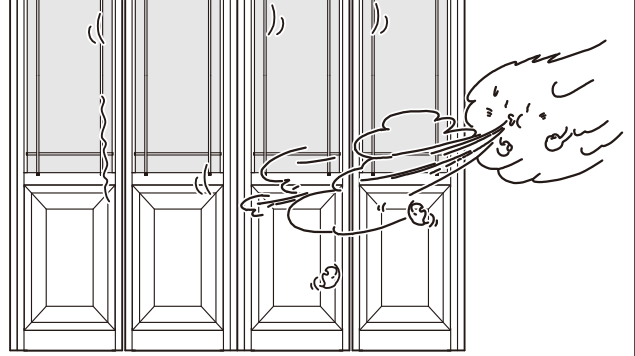
- 床下に入らないでください。突起物でケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



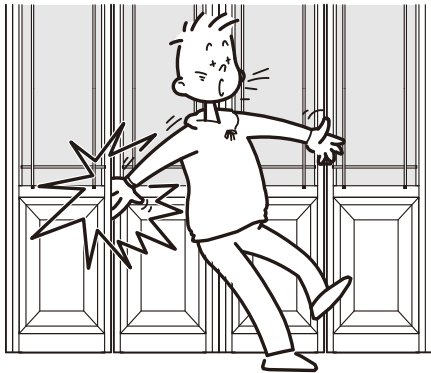
- パネルやフィックスパネルに寄りかかったりしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



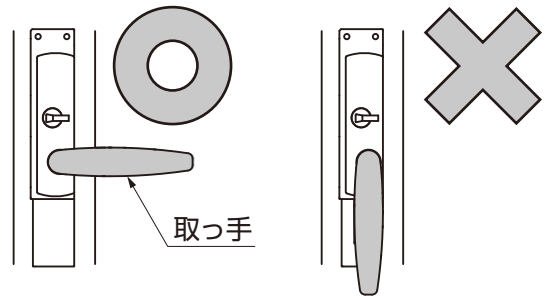
- 台風など強風が吹くときは、パネルを必ず全閉にしてロックしてください。パネルが破損したり、屋根材が飛んでケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



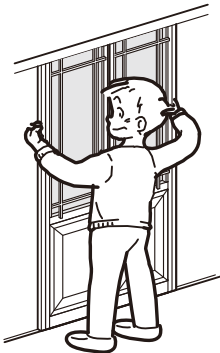
- パネルを開閉しているとき、パネルとの間にはさまれないように注意してください。

⚠ 注意



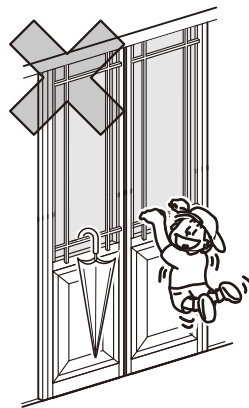
- パネルを動かすときは、取っ手を横にした状態で操作してください。取っ手を縦状態で操作するとパネルが破損し、ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



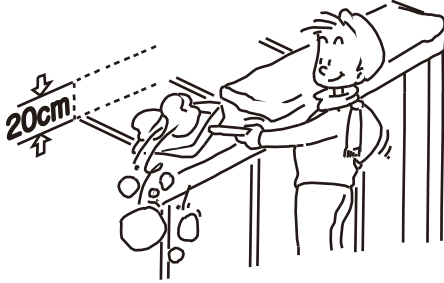
- パネルを移動したり、開閉するときは、手荒い（手早い）操作をさけ、必ず両手で行なってください。パネルが破損しケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



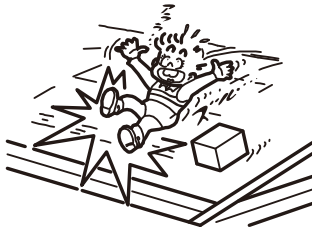
- 格子に登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。部材が変形・破損したり、転落してケガをし、事故につながるおそれがあります。
- 格子に雨具・洗濯物等を吊下げないでください。部材が変形・破損し、事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



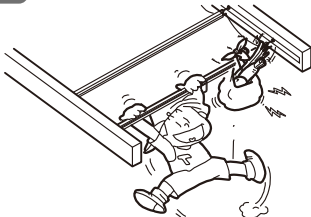
- 屋根材の上に積雪が20cmを超える前に雪おろしをしてください。屋根材が雪の重さで破損してケガをするおそれがあります。
  - ・積雪量は、積雪1cmあたり3kg/m<sup>2</sup>として算出しています。湿った雪ではこれより重くなる場合がありますので、早めに雪をおろしてください。
- 積雪地仕様の場合は積雪が50cmを超える前に雪おろしをしてください。

⚠ 注意



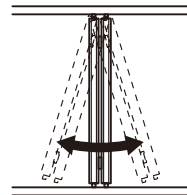
- 屋根の上に乗らないでください。また、重量物を載せたり、柱にぶらさがらないでください。落ちてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



- 内部日除けに物をぶらさげたり、ぶらさがったりしないでください。落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意



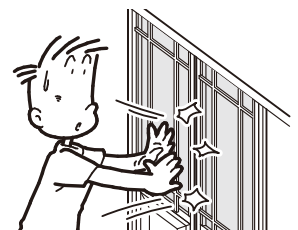
- 折戸パネルをたたんだ状態で傾けないでください。折戸パネルが破損しケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 日光が反射しやすい面材（パネルなど）をご使用の場合、面材のゆがみで太陽光が集光し、光の反射が強くなる場合があります。ごくまれに、反射光が当たった個所の状況や環境により、庭の植物や人工芝などの設置物に焦げ付きや溶融が生じることがありますのでご注意ください。

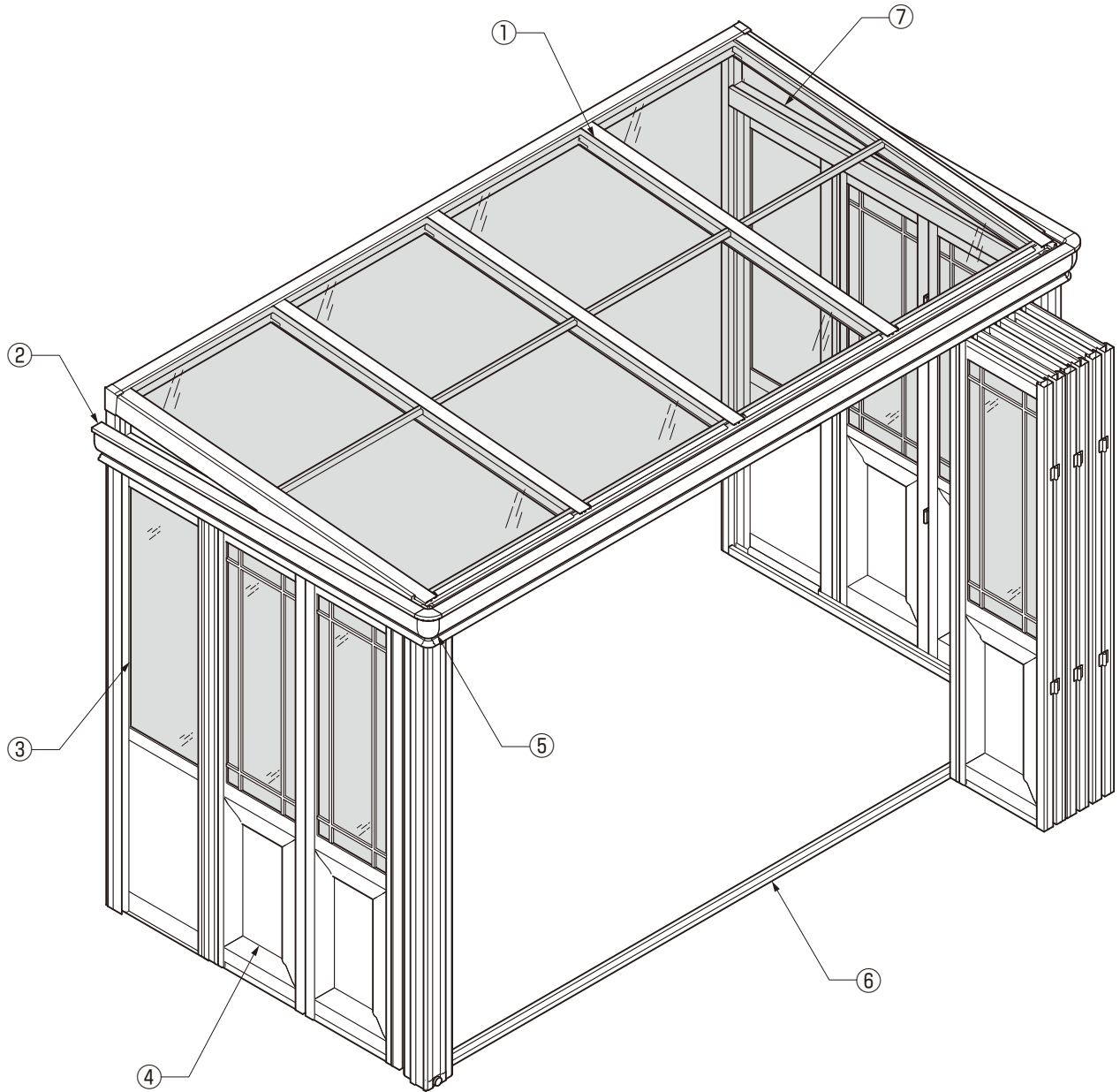
お願い

- 暖簾物語の中に入れた電気製品やソファ等、日当たりの良い場所では「日焼け」により、色あせ等を起こすことがありますので、注意してください。
- 暖簾物語は家屋のような水密気密性能はありません。また、結露水が落水することもありますので、暖簾物語内で使用するファニチャー・電気製品は性能を確認したうえで使用してください。
- 下レールベースをけとばしたり、踏みつけたりしないでください。変形すると、折戸パネル開閉ができなくなります。
- 雨が降っている時は、折戸パネルを閉めてください。雨の日に折戸パネルを折りたたんだ状態のまま放置すると、折戸パネル内部に水がたまり、作動不良の原因になります。
- 積雪時は、柱付近のパネルから出入りし、雪おろしをしてください。積雪量により、開口中央部のパネル開閉がしにくくなる場合があります。
- パネルが動かない下記のような状態で無理にパネルを開閉しようとしたり、強い衝撃を与えないでください。パネルが破損するおそれがあります。
  - ・落し棒が落ちている時
  - ・積雪時 ・凍結時



## 2 各部の名称 ※図はスタイルAを示します。

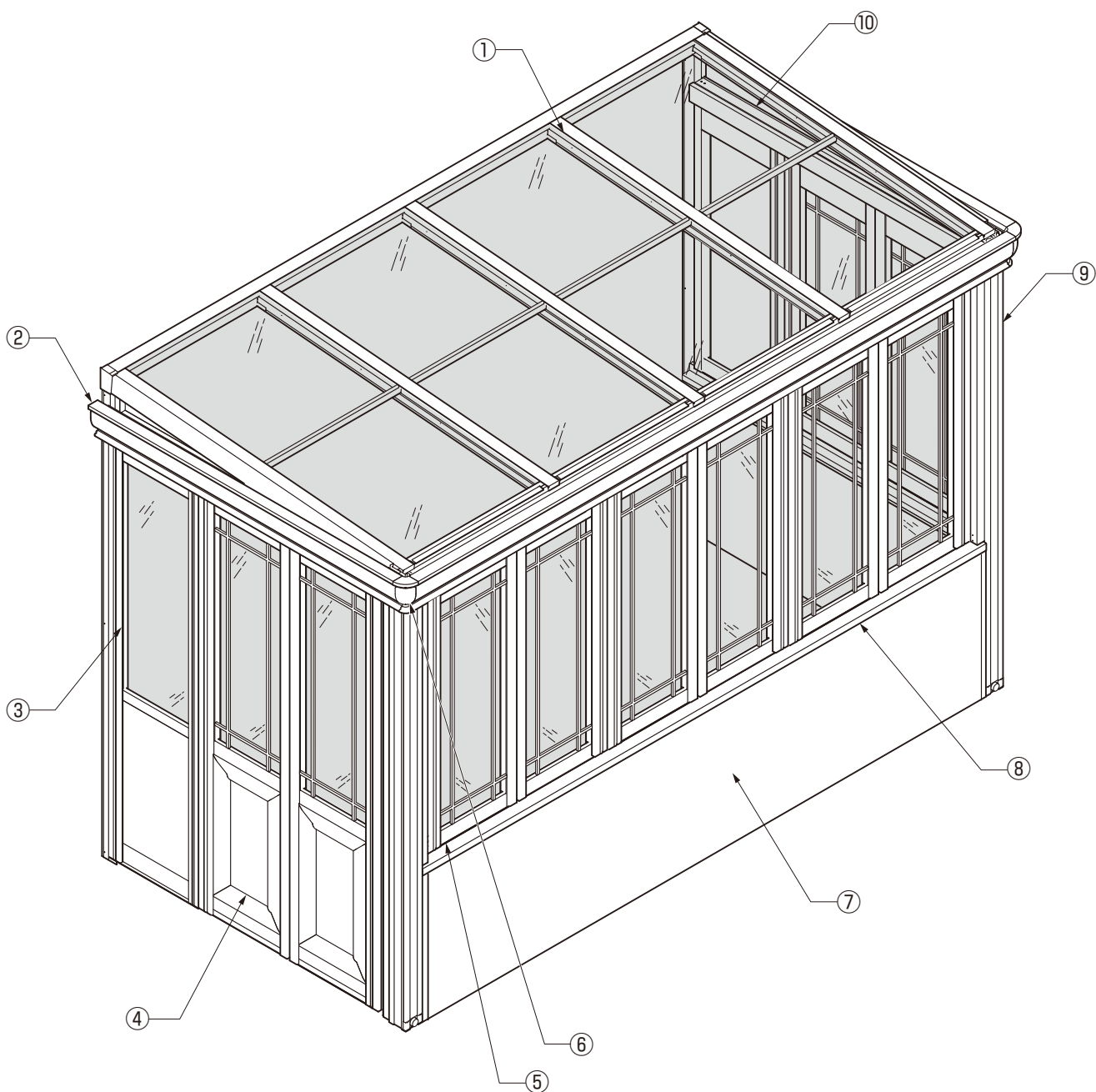
### (1) 基本タイプ



NO,	名称
①	垂木
②	屋根幕板
③	調整フィックスパネル
④	折戸パネル
⑤	屋根幕板コーナーキャップA

NO,	名称
⑥	下レールベース
⑦	妻梁

## (2) (L字) 腰壁タイプ



NO.	名称
①	垂木
②	屋根幕板
③	調整フィックスパネル
④	折戸パネル
⑤	下レールベース

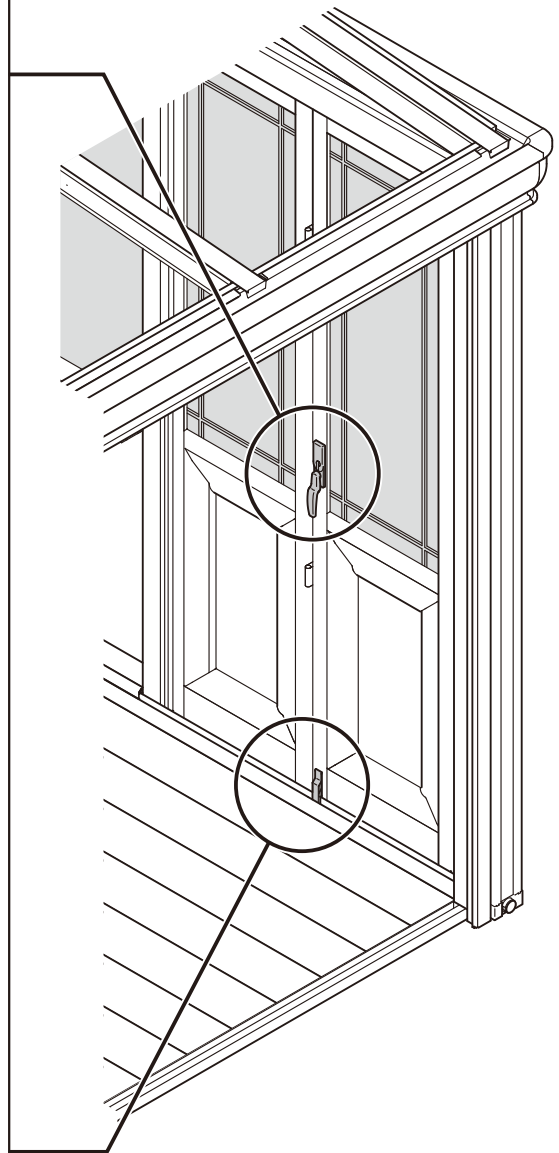
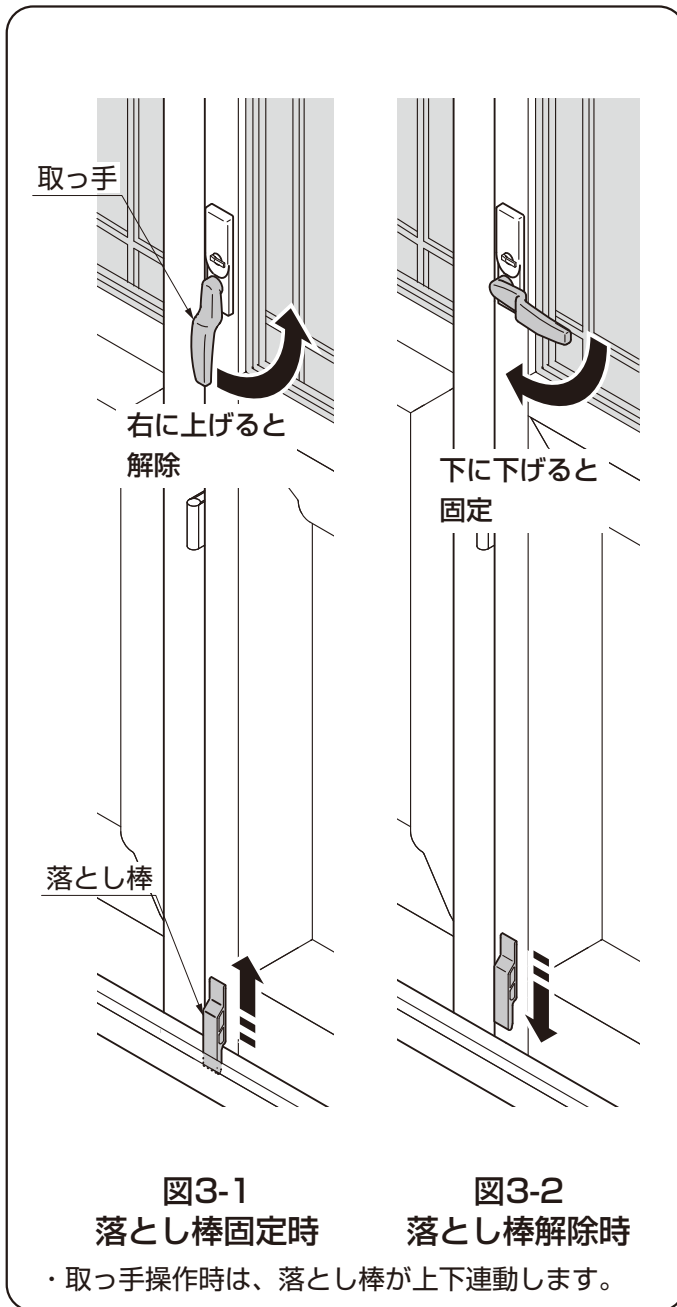
NO.	名称
⑥	屋根幕板コーナーキャップA
⑦	腰壁
⑧	笠木
⑨	主柱
⑩	妻梁

# 3 パネルの使用法

## お願い

●各パネルを開けたり、移動する前に必ず落とし棒を解除してください。

### 1. 落とし棒の操作方法



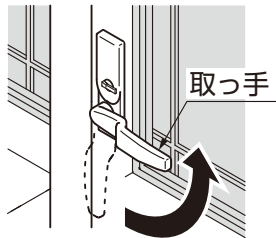
#### (1) 落とし棒の解除方法

①取っ手を右に上げると解除します。

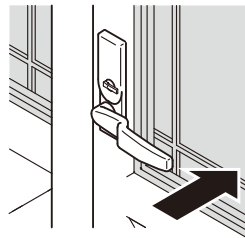
#### (2) 落とし棒の固定方法

①取っ手を下に下げると固定します。

## 2. パネルの開け方、閉め方

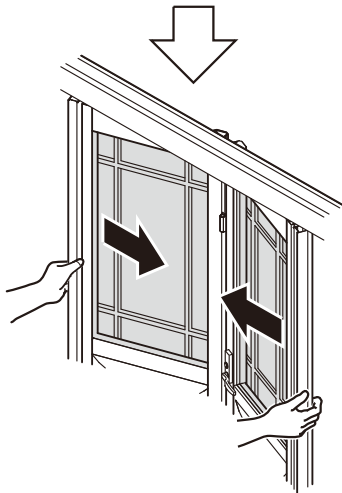


① 右に上げる

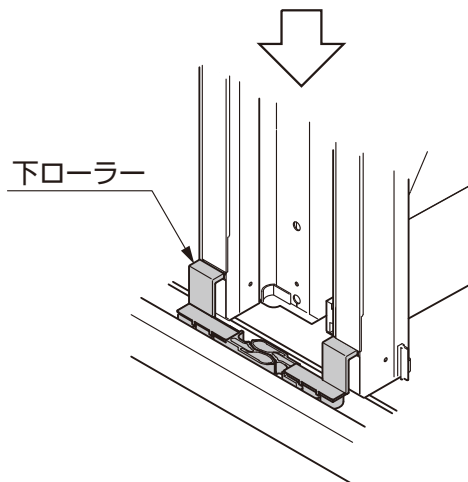


② 押込む

- ① 取っ手を右に上げ、落とし棒を解除してください。
- ② パネルを外側にかたく押込んでください。



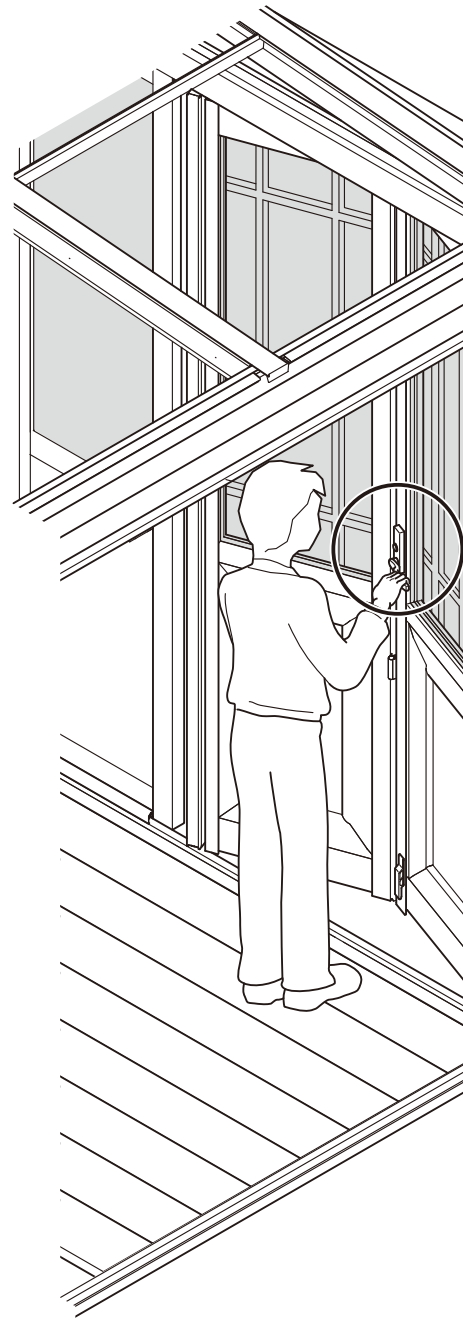
- ③ パネルの両端部を持ってひきよせてください。



- ④ 下、上ローラー部をはめ合わせてください。

### お願い

- 折りたたんだパネルは風が吹くと動く場合があります。その場を離れる場合はパネルを閉めてください。





### 3. パネルの移動方法



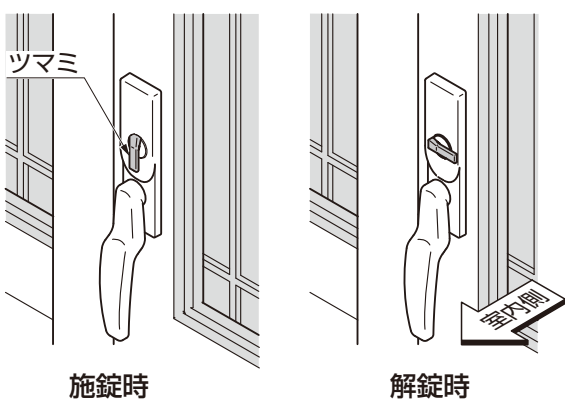
① パネルは広げた状態で移動させてください。

#### 補足

- 下ローラーでパネルを固定している為、パネルを閉めたままの状態だと動かしにくくなります。

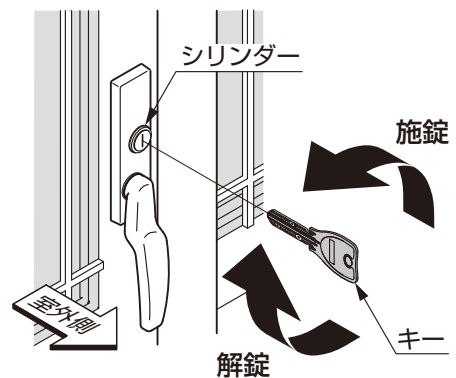
### 4. 錠の操作方法

#### 4-1 室内側からの施錠、解錠方法



① ツマミを回転させ施錠、解錠してください。

#### 4-2 室外側からの施錠、解錠方法



② キーを差込み、回転させ、施錠、解錠させてください。

# 4 お手入れについて

## 1. パネルの清掃 ※年に2~3回清掃してください。

### お願い

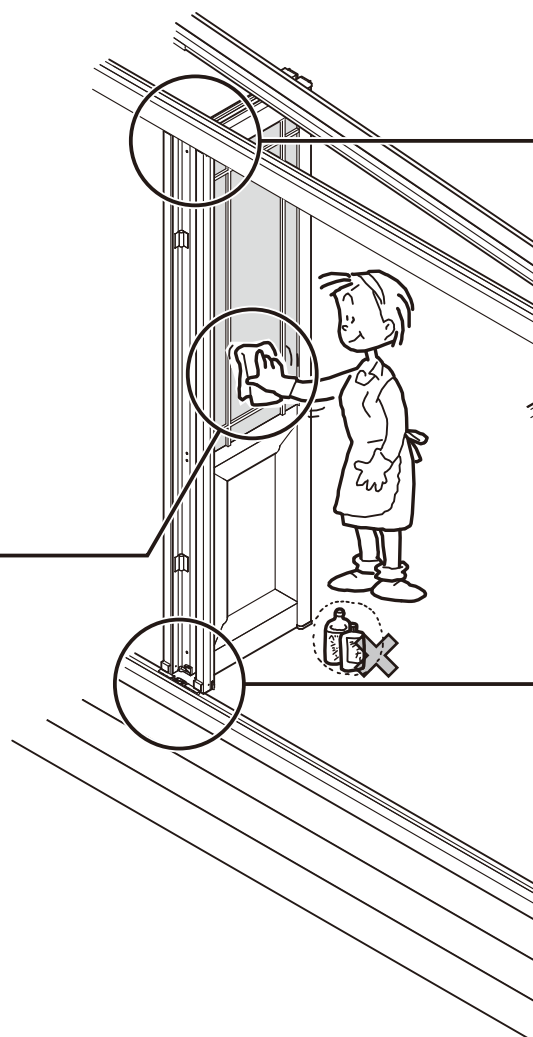
- パネル（ガラス）の清掃
  - ・市販のガラスクリーナーを使用して、柔らかい布などで拭き取ってください。
- フィックスパネル（ポリカーボネート）の清掃
  - ・お手入れのときはキズ防止のため、水に濡らした柔らかい布などで拭き取ってください。
  - ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。

### 補足

- ポリカーボネートの擦れキズについて
  - ・ポリカーボネートはとても擦れキズのつきやすい材質です。擦れキズを防ぐために、市販のポリカーボネート用のコーティング剤を使用することをおすすめします。ポリカーボネート表面を保護、光沢保持することができます。また、既についてしまった擦れキズをある程度目立たなくすることができます。

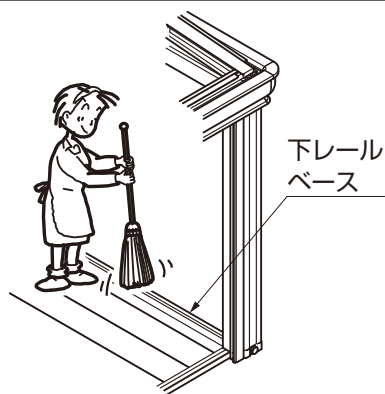


- ①年に2~3回水洗いをして拭き取ってください。
  - ・汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
  - ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭き取ってください。



## 3. レールの清掃

※定期的に行なってください。

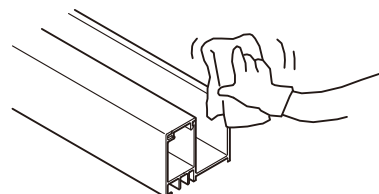
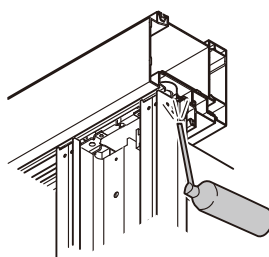


### お願い

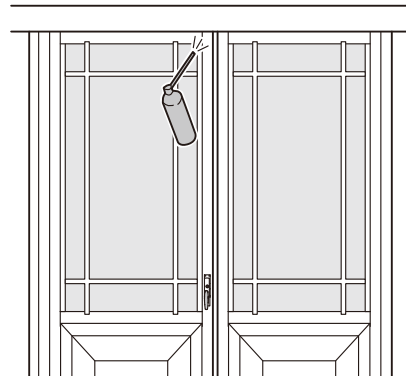
- 下レールベースに溜まったゴミは定期的に清掃をして取除いてください。

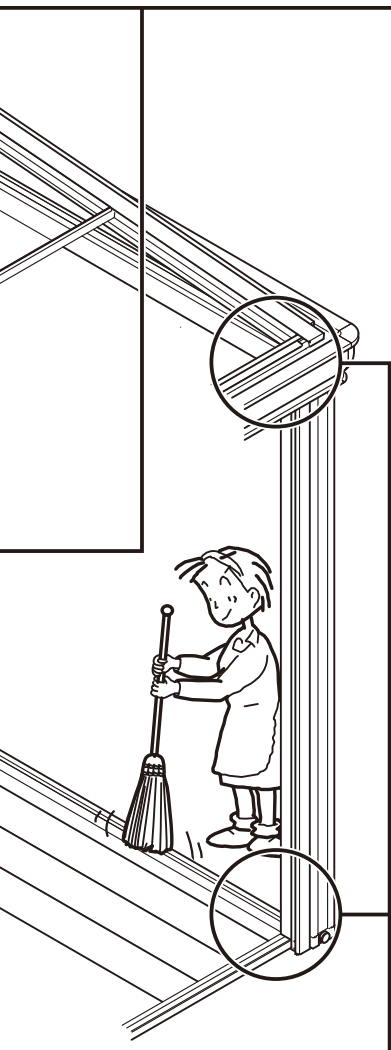
## 4. レールのお手入れ

※パネルの開閉がスムーズでなくなったらお手入れしてください。



【外観】





ださい。

- ① パネルの開閉がスムーズでなくなったときは、上ローラー部と上レール水切りに市販の潤滑剤を吹き付けます。

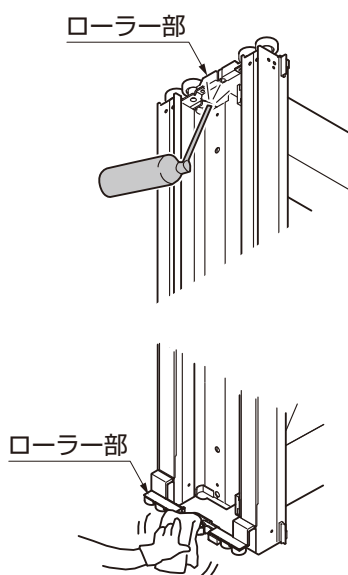
**補足**

- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。シリコン系以外の潤滑剤を吹き付けると、ローラーの割れの原因になります。

## 2. パネルのお手入れ

### 2-1 パネルのお手入れ

※パネルのローラーが噛み合いにくい時に清掃してください。



- ① パネル上部のローラーが噛み合わない場合は、シリコン系潤滑剤を吹き付けてください。
- ② パネル下部は、柔らかい布で拭いてください。

**お願い**

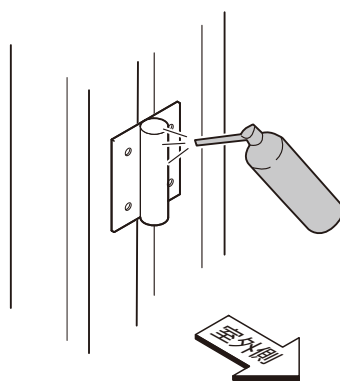
- パネル下部のローラー部は必ず柔らかい布で拭いてください。潤滑剤を吹付けるとパネル開閉に支障をきたす原因となります。

**補足**

- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。シリコン系以外の潤滑剤を吹き付けると、ローラーの割れの原因になります。

### 2-2 ヒンジ部のお手入れ

※パネルの開閉がスムーズでなくなったらお手入れしてください。



- ① パネルの開閉がスムーズでなくなったときは、市販の潤滑剤を吹き付けます。

**補足**

- 必ずシリコン系潤滑剤をご使用ください。シリコン系以外の潤滑剤を吹き付けると、ローラーの割れの原因になります。

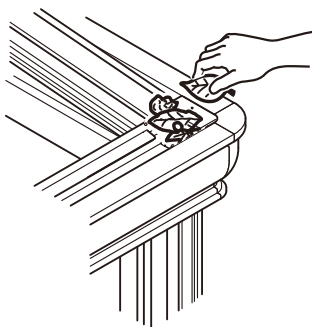
## 5. 雨樋の清掃 ※定期的に清掃してください。

### ⚠ 注意

- 脚立や踏み台を使う場合は、ケガをしないように足下に注意してください。
- 清掃の際は、安全のため必ず手袋をしてください。

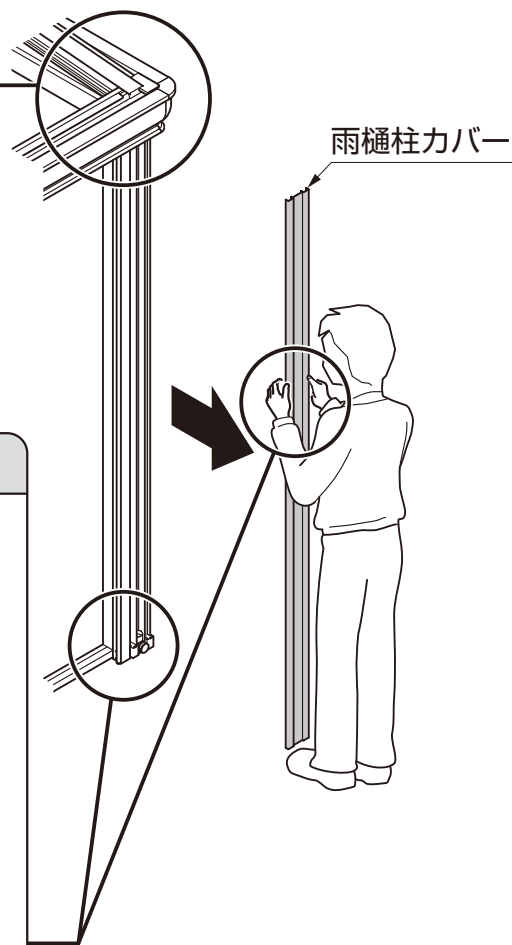
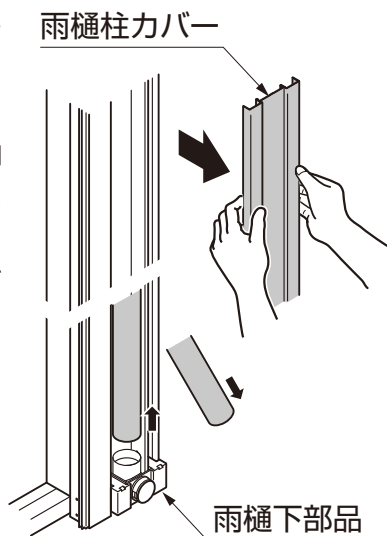
### 5-1 上部の清掃

- ①桁上部にたまった落ち葉やゴミを取り除いてください。



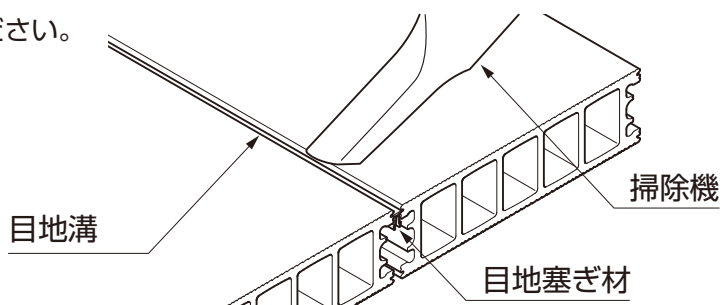
### 5-2 下部の清掃

- ①雨樋柱カバーを取外します。
- ②丸樋を取外します。
- ③丸樋および雨樋下部品内にたまった落ち葉やゴミを取除いてください。
- ④掃除後は取外した部品を元の位置に組付けます。



## 6. 内面デッキ目地溝の清掃（樹ら楽ステージ木彫の場合）

目地溝のお掃除は掃除機で吸い取ってください。



## 5 製品のご注意とお願い

### 注意

- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。製品の性能を低下させるおそれがあります。
- 錠は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことができなくなります。
- 屋根幕板の下面両端に水抜き孔があり、降雨後に水滴が落下する場合があります。
- 地域・気候・使用状況などによっては屋根材やパネルに結露が発生し、結露水が落ちる場合があります。その付近には電気製品やソファーなど、濡れては困る物を置かないでください。
- 開閉時や操作時に異常（がたつき、異音、重い、固いなど）を感じた場合は、ご使用を中止し、お取り扱いの建築会社、施工店、工務店、販売店または当社お客様相談センターにお問い合わせください。

### お願い

- デッキ上で暖房器具、バーベキューコンロを使用しないでください。部材が変形・破損するおそれがあります。
- 内部日除けの近くで火を燃やしたり、加熱しないでください。内部日除けが溶けたり変形するおそれがあります。
- 錠穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。スムーズに動かなくなったら、シリンダー専用潤滑剤を錠穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- 製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
- 弊社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ボルト、ナット、ネジ等は絶対にゆるめないでください。
- 小鍵はメーカー純正のものを使用してください。
- 人工木材の場合は床板一枚に常時掛かる重量が10Kgを超えるものを置かないでください。
- デッキ上に木製家具等を長期間置くと色褪せ、反りが生じることがありますのでご注意ください。
- パネルの近くに物を吊さないでください。強風時および開閉時にパネルに当たり、破損の原因になります。
- 雪下ろしの際、金属製スコップ等を使用すると屋根材が割れたり、キズが付く原因になります。プラスチック製のスコップ等で静かに行なってください。

## 6 修理を依頼する前に

- 故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。  
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
折戸パネルがスムーズに開閉しない	下レールの溝内にゴミや小石などありませんか	下レール溝内を清掃してください （「4 お手入れについて」参照）
	上ローラー・折戸パネルの滑りが悪くありませんか	上ローラー・折戸パネルに潤滑剤を吹付けてください （「4 お手入れについて」参照）
	積雪量が20cmを超えていませんか （積雪地仕様の場合は50cm）	雪下ろしをしてください （「1 安全のために必ず守ってください」参照）
桁先から雨水が垂れる	雨樋が枯葉などでつまっていませんか	雨樋を清掃してください （「5 雨樋の清掃」参照）

## 7 修理

- 折戸パネルおよびガラスフィックスのガラスが破損した際は、手などを触れないようにし、すみやかに買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
- 修理に関するお問い合わせは、買い上げの販売店（工事店）または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		その他	

- 消耗品は寿命があり有償修理となります。

### お願い

- キーに刻印している番号（英数字）をご使用前に下記に控えてください。

鍵番号		 鍵番号
-----	--	---

紛失時はこの番号で発注してください。鍵番号が不明の場合は、戸先内外錠ユニットごと交換になります。

- スペアキーをお求めの場合は、キーと同梱のご案内用紙をご覧ください、買い上げの販売店（工事店）にお問い合わせください。
- シリンダーの動きが悪くなった場合は、鍵穴専用の潤滑剤（市販）を使用してください。鍵穴専用ではない潤滑剤を使用すると故障の原因になるおそれがあります。
- レールにたまった水が凍結した場合は、必ず溶けてから操作してください。部品などの破損や故障の原因になるおそれがあります。

## 8 別売り品

- 下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- ・内部日除け
- ・可動竿掛け
- ・カーテンレール シングル
- ・笠掛けセットS
- ・収納式物干し
- ・カーテンレールダブル
- ・カウンターテーブル
- ・収納網戸
- ・クリーンハンガー  
着脱式物干し用ハンガーとしてご利用いただけます。
- ・補修塗料（アルミ型材用）  
あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。



## メモページ

A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

# 暖蘭物語 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	( )

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	印
	電 話	

株式会社 LIXIL

- 保証者**  
株式会社LIXIL
- 保証の対象者**  
当該商品の所有者
- 対象商品**  
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 保証内容**  
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 保証期間**  
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製部品については1年間)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。  
※注)新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 品質保証の免責事項**  
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
  - ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
  - ② 取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
  - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
  - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさく裂、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥ 商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど)。
- ⑦ 自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧ 環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩ 実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪ 犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫ 所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。  
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。  
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。  
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、下記公式サイトからご確認ください。

会社や商品についての情報の確認は、LIXIL公式サイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433

<https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社公式サイト「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード

UE082

JZZ622249G  
201102A\_1039  
202405H\_1047